

令和6年度滋賀県循環社会推進課関係事業功労者知事表彰 候補者名簿

生活環境改善事業功労者(市町・一部事務組合)

所属	氏名	年齢	功績内容
大津市	ハジメ コウイチ 一 浩一	52	<p>平成5年8月の採用以来、30年の永きにわたりごみ収集業務の第一線で活躍をしてきた。</p> <p>公務員としての自覚のもと、強い責任感と業務を的確に遂行する判断力、実行力で、市内の環境保全に貢献をしてきた。特に、平成25年4月の班長待遇昇任以降、ごみ収集業務全般にわたり指導力を発揮し、併せて若手職員の育成にも努めている。</p> <p>市民サービスの向上を念頭に置き、市域の美化を図るために、収集作業業務をはじめとする廃棄物行政に真摯に取り組む姿勢は、他の職員の模範とするところである。</p>
彦根市	マツモト ヒロキ 松本 洋樹	51	<p>永年にわたり、彦根市清掃センターに勤務し、同僚間での評価も高く、上司の信望も厚く他の職員の模範である。</p>
湖北広域行政事務センター	スギモト キョウタカ 杉本 清隆	55	<p>平成5年に湖北広域行政事務センター技能労務職として採用後、自動車運転手兼環境整備員として、一般廃棄物処理施設における資源ごみの収集・処理等、廃棄物処理業務に真摯に取り組んできた。</p> <p>業務に必要な多くの資格や免許を積極的に取得し、後輩職員の育成・指導にも日々尽力している。</p> <p>現在は、業務課兼クリスタルプラザにおいて、技能労務職主査として、豊富な知識と経験を活かして業務に取り組み、生活環境の向上と公衆衛生の確保に多大な功績を残している。</p>

甲賀広域行政組合	ハシモト シュウイチ 橋本 修一	50	<p>甲賀郡衛生センター(当時名)に着任以来、管内のし尿処理及びごみ処理行政に長年取り組む。</p> <p>し尿処理及びごみ処理についての深い知識と経験を基に、施設環境の整備・施設運営の改革に自ら率先して当たる事も多い。</p> <p>後進の育成においても的確な指導と模範を示す行動力から、常に職員間では主導的な役割を果たしている。</p>
湖南広域行政組合	ヤマモト タツヒロ 山元 達博	50	<p>30年以上の長きにわたり環境衛生行政の管理運営に従事、施設管理と職員の処遇等の業務を担い、職場の安全衛生の維持向上を努める一方で、周辺環境への配慮を絶えず心がけ、生活環境の充実と向上を図っている。</p> <p>また、今年度は環境衛生センター所長に昇任となり、所属長として職場環境の整備に努め、与えられた職務以上に率先して働く姿勢は、周辺住民の信頼を集めるとともに、他の職員の模範とするところである。</p>

生活環境改善事業功労者(清掃事業関係者)

所属	氏名	年齢	功績内容
クボタ環境エンジニアリング株式会社	ナガウラ スエミツ 長浦 末光	56	<p>19年以上の長きにわたり環境衛生の管理業務の委託を受け、施設管理と安全衛生の維持向上に努めるとともに、周辺環境への配慮を絶えず心がけ、生活環境の充実と向上を図っている。</p> <p>また、平成30年10月からは性能発注方式による長期包括的委託を受け、高度な維持管理に関する技術力と専門力により、施設の効率的な運転維持管理に努めている。</p>

生活環境改善事業功労者(産業廃棄物処理業関係者)

所属	氏名	年齢	功績内容
株式会社ヒロセ	ヒロセ 廣瀬 マユミ 廣瀬 真弓	67	<p>先代からの業績を引き継ぎ、先進的手法を取り入れ会社形態、従業員環境の改善に積極的に取り組んできた。従業員教育に力を入れると共に、労働安全衛生の取組強化や従業員の待遇改善にも取り組み、特に地域における環境美化、保全等の仕事が社会に貢献できる重要な仕事で有る事を従業員に認識させた事は、会社の存在感を高め、地域に愛される現在の組織を作り上げた功績を残している。</p> <p>令和4年5月～(一社)滋賀県産業資源循環協会理事と同時に、女性部会長として業界の中に置ける女性活躍・地位向上に積極的に取り組んでいる。</p>

環境衛生改善・環境美化模範地区および功労者(団体・個人)

区分	団体名	年齢	功績内容
団体	水と緑の環境ネットワーク	-	<p>構成団体のうち、「琵琶湖畔の景観を良くする会」は、近江八幡市の自然景観や良好な環境を保全・創造するための地域活動を行うことにより、県道を通行される方々に美しい琵琶湖を望んでいただけることや、近年、滋賀県が推進する「ピワイチ」の効果によりサイクリングされる方が増え快適に走行していただける環境を整えている活動が認められ、令和3年に「国土交通大臣賞」を受賞されている。</p> <p>また、「白鳥川の景観を良くする会」は、白鳥川流域の環境整備、景観向上で JR から琵琶湖岸まで約5キロメートルの桜並木を整備して名勝「桜並木づくり」を目指し、夢のある心豊かな「市民の憩いの散策路」にすることを目的に活動され、多くの表彰を受けている。</p>

団体	グリーンインフラ 虫生野	-	<p>「グリーンインフラ虫生野」は、ボランティアサークルとして、平成29年2月に設立され、杣川河川敷の環境整備と事前防災(防災・減災)を目的として活動をされている。</p> <p>当団体の主な活動内容は、河川堤防・裏側・田道(計 1.4 km)の草刈及びごみ拾いを年間16回実施されており、設立時は12名であった構成員も、活動趣旨に賛同する協力者により、現在は30名に増加している。</p> <p>また、平常時の清掃活動の他にも、全国植樹祭オール甲賀盛り上げ事業・国際ヨガDAYin 甲賀市100人ヨガ・プラット貴生川など、イベント時のまちづくり活動にも貢献されており、これらの地道な活動によって、年間約10,000名の方が訪れる杣川河川敷は、美観が保たれ県民の交流や憩いの場となっている。</p> <p>水辺を生かし、継続的に取り組まれることで、地域環境や暮らしが守られ、不法投棄や犯罪防止にも繋がっており、他の地域からも模範となっている。</p>
個人	ノマヨシコ 野間 佳子	58	<p>平成24年にボランティア清掃団体である「アルティプラザボランティア」を発足。代表として毎月の清掃活動をされている。</p> <p>令和4年4月に名称を「祇王井川・中ノ池川の清流を守る会」に変更。野洲市環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」(えこっち・やす)に加盟。引き続き毎月第4土曜日の早朝に川の清掃活動を行い、野洲市の環境美化活動に奉仕されました。積極的に広報し、活動の輪を広げるよう努められた。長期間に渡り環境改善のため奉仕活動を継続する姿勢は、他の市民及び職員の模範となっている。</p>